



またかた 社協だより

よろこび多いまちづくり

vol.19

東日本大震災
特別号

心を一つに がんばろう！ ふくしま

～東日本大震災で犠牲になられた方、被災された方々に
謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます～

3月11日に発生した大地震、津波そして原発事故は、甚大な被害をもたらし、大勢の方が犠牲となるとともに、現在も先行きの見えない避難生活を余儀なくされています。

また、喜多方でも風評被害によって、観光業や飲食業、農業などの分野を中心に大きなダメージを受けています。

でも”朝の来ない夜はない”今、一番大切なのは自分たちが
できることを一人一人が考え、実行に移し、お互いが支えあう
ことではないでしょうか。

がんばろう ふくしま！がんばろう きたかた！！

● おもな内容 ●

- 義援金・救援物資の報告と御礼・・・P2
- 災害ボランティアセンターの活動・・・P4
- 被災地現地リポート・・・・・・・・・・P6

東日本大震災への義援金・救援物資のご協力に 心より感謝申し上げます

この度の、東日本大震災にあたり、喜多方市社会福祉協議会では、被災地への義援金と喜多方市が開設した避難所へ避難されて来られた方々への救援物資の募集を行いました。

義 援 金 **20,564,866円** ※平成23年5月31日現在
(企業・団体 182件、個人 304件、他募金箱、街頭募金等)

お寄せいただきました義援金は、日本赤十字社及び中央共同募金会を通じて、被災地の復興支援や犠牲者・被災者への見舞金として配分されます。

救援物資 (企業・団体 **47**件、個人 **589**件) ※平成23年5月31日現在

喜多方市では3月16日に押切川公園体育館に避難所を開設し、最大で約400名の方が避難されました。皆さんから寄せられた救援物資は、避難生活を余儀なくされた皆様へ配分いたしました。



「皆様の善意とご協力に感謝して」

喜多方市社会福祉協議会長 武藤 顕夫

このたびの東日本大震災は、これまでに類を見ない未曾有の被害を出し、特に福島、宮城、岩手の3県は大地震に続いた巨大地震により多くの家屋が罹災し、その生活と経済活動は一変いたしました。加えて福島第一原発の事故によりその周辺地域に住む人々は避難生活を余儀なくされました。喜多方市におきましても押切川公園体育館に避難所を設置し、最大で約400名近い方々の受け入れが行われました。

本会といたしましては、この大震災を受け、3月16日に災害ボランティアセンターを立ち上げました。また、現地窓口として避難所にサブセンターを設置し、ボランティアの受付・登録とそのコーディネート、災害義援金と避難所救援物資の募集受付を行い、被災、避難された方々に対する支援を行ってまいりました。

特にボランティア募集では、春休み期間であつたことから、学生を中心に多くの市民の皆様に登録して頂きました。ボランティア活動としては主に避難所の運営に係る支援と受け付けた救援物資の整理にご協力をいただきました。厚く御礼を申し上げます。

また、喜多方市の要請を受けて行った炊出しおにぎりの作成、更には惣菜づくりにおきましては、日頃から何かとご協力いただいている市内の福祉関係団体並びにボランティア団体、及び個人ボランティアの皆様にご協力をいただき、日々の食事提供にお力添えを

賜りましたことに、重ねて感謝申し上げます。この活動は、住み慣れた地域を離れ、避難所で集団生活を余儀なくされた皆様にとって心温まる活動として心の支えになったものと自負しております。

一時、本市で避難生活をされ、現在はいわき市にお住まいの方から「ボランティアによつて心がいやされ、これからの生活に対し勇気をもらいました」との手紙をいただきました。一例ですが、うれしい限りです。

その後本会としての活動は、緊急小口資金特例貸付融資の申請受付事務を担当いたしました。また本会が管理運営しております熱塩加納町「夢の森」、塩川町「いきいきセンター」及び喜多方市総合福祉センターでの入浴施設を被災者に無料で提供いたしました。更に現在は、甚大な被害を出した浜通りの地域に職員を派遣し、現地のボランティアセンターの支援を行っております。

震災から3カ月が経過いたしました。復興に至るまでの道のりは始まったばかりです。心温まる義援金と多くの物資をお寄せいただいた皆様、これまでにご尽力をいただきました各種団体の皆様並びに個人ボランティアの皆様、心から感謝を申し上げます。

最後に喜多方市の皆様の温かいお心遣いが被災者の皆様に届き、被災地に一日も早く笑顔が戻ることを切に願い、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



このたびの、東日本大震災の義援金募集については、3月14日より受付を開始いたしましたが、毎日大勢の個人、企業・団体の皆様のご来訪され、貴重な善意をお寄せ下さいました。地元である福島県が甚大な被害を受けたということもあるでしょうが、喜多方の皆様の温かいお気持ちを肌で感じる事ができました。本当にありがとうございました。

尚、紙面の関係上、一部の皆様のための掲載となりますが、ご容赦いただきますようお願いいたします。





災害ボランティアセンター
(総合福祉センター内)

災害ボランティアセンター の活動紹介

喜多方市社会福祉協議会では、3月16日に災害ボランティアセンターを開設し、個人登録ボランティアの募集と、コーディネートを開始したほか、市内のボランティア団体、友好団体の協力のもと、様々な活動を実施いたしました。



避難所サブセンター
(押切川公園体育館内)

登録ボランティアの皆さん が大活躍!!

ボランティアの募集を開始すると、登録希望の問合せが殺到し、280名を超える皆さんに登録していただきました。ボランティアの皆さんには、救援物資の仕分作業や運搬作業、避難所サブセンターでの「あそび広場」の運営、配食のお手伝いなどを行っていただきました。

また、マッサージや理容、看護、絵本の読み聞かせなど、資格や特技を活かしたボランティアさんが大活躍…避難されている方々に好評でした。



心を込めて… 炊出しボランティア

地震直後の3月14日から、市内各地区の赤十字奉仕団の協力をいただき、被災地へのおにぎりの炊出しを実施いたしました。連日、1,500個～2,300個のおにぎりを、心をこめ握り、会津地方振興局を



通じ被災地へ届けました。

また、3月19日からは、押切川公園体育館の避難所用としてのおにぎりの炊出し、4月7日～20日までは夕食の惣菜の炊出しを実施いたしました。



協力団体の皆さん、ご協力ありがとうございました。

<協力団体>

喜多方市赤十字奉仕団、熱塩加納町赤十字奉仕団、塩川町赤十字奉仕団、山都町赤十字奉仕団、高郷町赤十字奉仕団、喜多方市ボランティア連絡協議会、喜多方市女性団体連絡協議会、喜多方市民生児童委員連合会、喜多方地区老人クラブ壮年部・女性部、JA会津いいで女性部、喜多方市商工会議所女性部、喜多方市食生活改善推進委員会、コープあいづ、喜多方市市民活動サポートネットワーク

喜多方の桜… 楽しんでいただけましたか

熱塩加納町赤十字奉仕団は、4月30日、日中線記念館(熱塩駅跡)で、東日本大震災で熱塩温泉と日中温泉に避難している被災者約100名を招待してお花見交流会を開催しました。

満開の桜の下で、だんご汁をはじめ、さゆり米で作ったおにぎりや地元産アスパラ、ゆで卵などが振る舞われました。食後に、日中線の歴史の話しやゲーム、うた、踊りのもてなしに、笑顔でお過ごしいただきました。

被災者から「過去をひとときでも忘れることができました。楽しい時間をすごせました」ということばをもらい、それを聞いた会員は、逆に元気ももらった様子でした。



街頭募金にもたくさんの 善意が寄せられました

登録ボランティアの皆さんに参加していただき、市内4ヶ所のスーパーの店頭をお借りして街頭募金を行いました。

「この災害を支援したい」という市民の皆さんの熱い思いがとても伝わってきました。

募金総額 341,845円



※押切川公園体育館の避難所は6月6日をもって閉所となりました。それにあわせて、災害ボランティアセンター避難所サブセンターも閉所といたしました。

ボランティア活動をしていただいた皆さんより……



『赤十字の使命』

喜多方市赤十字奉仕団
委員長 佐原和佳子さん

見上げれば、真青な広い会津の空、爽やかな今日の頃ですが、いまだに、あの震災の悲惨な光景は忘れることができません。

私達、喜多方市赤十字奉仕団は震災直後、炊出しを開始し、毎日被災地におにぎりを届け、その後、体育館避難者へも、おにぎり、惣菜の炊出しを「美しく作りますよう！」を合言葉に、団員一丸となり、被災者ニーズに迅速に対応してまいりました。今、赤十字奉仕団の使命が果たせ、嬉しい限りです。

ご協力下さいました皆様に、心より感謝申し上げます。



『ボランティア活動で 気づいた友達との絆』

会津学園高等学校二年生
杉原里奈さん

この大震災により、自分たちも不安な中、何か自分たちも力になりたいと、同級生の友達20人と共に、押切川公園体育館にて炊出しをさせていただきました。一日に数百個にぎるおにぎり。味はどうか、形は、大きさは……。考えている以上に「人の為に何かをする」ということは大変なことでしたが、その中に充実感もありました。そして、何より、誰かの為に一生懸命になれる友達が多くいることを改めて幸せに感じると同時に、喜多方の人の温かさを誇りに思いました。

『東日本大震災に対する 私たちの取り組み』

社団法人会津喜多方青年会議所 理事長 角田龍一さん

この度の東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆さま、ご家族、ならびに関係者の皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

私たちは会津喜多方青年会議所は、この大震災の翌日には対策会議を開催し、被災地に対する支援や喜多方に避難されている方々への支援を検討しながら活動してまいりました。

そのなかの主だったものとして、3月19日に行った押切川公園体育館でのラーメンの炊き出しがあります。当会議所のメンバーやOBなど総勢40名ほどで、約300食のラーメンを提供しました。多くの方々から、「おいしかった。」「ありがとう。」「などの言葉をいただき、とてもうれしく感じました。

また、避難所では思うように運動ができない子供たちに、思いっきり運動してもらいたいと思い、4月3日に小野瀬工業体育館で避難所にいる子供たちとドッジボールやフットサル、縄跳びを行いました。子供たちの笑顔がとても印象的でした。

その他にも、救援物資の提供やいわき市でのラーメンの炊き出し、東京での風評被害撲滅物品販売等々を行っております。

私たちは会津喜多方青年会議所は、被災地の一日も早い復興と被災された方の平穏な生活が取り戻せるよう、今後も活動を続けてまいります。



喜多方に避難されている方々への 入浴施設無料利用を実施！

喜多方市社会福祉協議会では、東日本大震災により、故郷を離れ喜多方に避難されておられる方々に、指定管理施設として運営している喜多方市総合福祉センター、保健福祉センター夢の森、塩川いきいきセンターの入浴施設を、無料でご利用いただきました。(約2,000名が利用)

衛生面の確保だけでなく、大きな浴槽でゆっくりと温まっていただき、少しでも窮屈な避難生活のリフレッシュにつなげていただけたかと思ひます。

※現在は、押切川公園体育館の避難所が閉所されたため、無料の入浴は終了しました。尚、現在は夢の森において入湯税の免除(150円で入浴可)、子供料金の減額(150円で入浴可)の対応をしております。その際、被災証明書、罹災証明書等をご提示ください。

原発事故の関係で
避難してきています。
夢の森のお風呂は
温まって疲れがとれます！



(双葉郡浪江町から避難されている鈴木さんご家族)

○災害ボランティア被災地現地レポート(新地町)

福祉課長 清野 洋一

5月7日(土)から5月10日(火)までの4日間、新地町災害ボランティアセンターでの協力支援を行ってきました。新地町の海岸沿いの光景は見る影もなくいまだに多くの瓦礫が地面を覆い、巨大津波の凄まじさを改めて実感し、いかに恐ろしかったかを思い知らされました。

地元の方にお聞きすると、幹線道路の国道6号線からは震災前は建物や木々に隠されて見えなかった海が、今は見えることに愕然としたとのこと。3月11日以前はそこに人々の生活があり笑顔があったのかと思う言葉がありません。

そのような状況の中、4月15日から立ち上がった被災地の災害ボランティアセンター業務を支援するため、ボランティアの受付登録、更には資材管理の協力を行いました。ゴールデンウィーク期間中は最大で200名近くのボラ

ンティアの方々に来ていただいたとのことでしたが、5月10日は30名程度までに減少しました。

新地町では、地域における瓦礫や土砂の撤去作業がボランティアの大きな役割となっていました。徐々に仮設住宅が建設され、支給された家具類の作製も要望として届いており、まだまだボランティアの力を必要としています。復興までの道のりは、ようやく始まったばかりですが、ボランティア活動を通して一人ひとりが協力することによって大きな力になることを実感し帰ってまいりました。

喜多方市社協では、福島県社協からの要請を受け、5月7日より交替で被災地の災害ボランティアセンターの応援として、職員の派遣をしております。



一人で悩んでいませんか・・・

心配ごと相談所開設

人にはいろいろな心配ごと、悩みがあります。それをどこに相談したらよいかかわからないということはありません。

喜多方市社会福祉協議会では、そんな方々が一歩前に踏み出すためのお手伝いとして、心配ごと相談所を開設しています。

相談の受付：原則として電話予約

◎相談に対応できる職員が不在の場合がありますので、申し訳ございませんが事前にお電話ください

受付及び相談対応日時：土・日・祝祭日、年末年始を除く
8:30～17:00

◎下記の連絡先までお電話ください
(電話での相談も受け付けています)

本所 0241-23-3231 (喜多方市総合福祉センター内)
熱塩加納支所 0241-36-3112 (保健福祉センター夢の森内)
塩川支所 0241-27-3948 (塩川いきいきセンター内)
山都支所 0241-38-3100 (山都しゃくなげホーム内)
高郷支所 0241-44-7111 (高郷かたくり荘内)

※相談は無料です。
※相談者の秘密は厳守いたしますので、ご安心ください。

被災地ボランティア情報

東日本大震災復興応援ボランティアバスツアー

被災地でのボランティア活動についてのお問合せを、多数いただいております。このたび、交通手段などについて喜多方観光バス様にお話を申しあげたところ、同社の主催により「東日本大震災復興応援ボランティア日帰りバスツアー」が催行されることになりました。

本協議会といたしましても、いわき市災害ボランティアセンターとの連絡調整や、ボランティア保険の加入、ツアーのPRについて協力させていただくことになりました。

出発日：6月18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(土)
7月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)
※最少催行人員20名

行程	会津各地(7:00～8:00)=高速道路=いわき地区(10:00～16:00)=高速道路=会津各地(18:00～19:00) ※乗降場所については、喜多方観光バス様にお問合せください
----	--

参加費：3,000円(昼食代含む)

活動内容
がれき撤去、側溝の掃除、引越し手伝いなど
服装・持ち物：動きやすい服装(長袖)、リュックサック、ゴム手袋、軍手、マスク、タオル、長靴、着替え、保険証のコピーなど。
※その他、特別に必要なものについては、ツアー催行が決定後連絡があります。
※雨天の場合は中止となります。

申込、問合せ：喜多方観光バス(株)

Tel 0241-21-1100
http://www.kitakatakanko.com